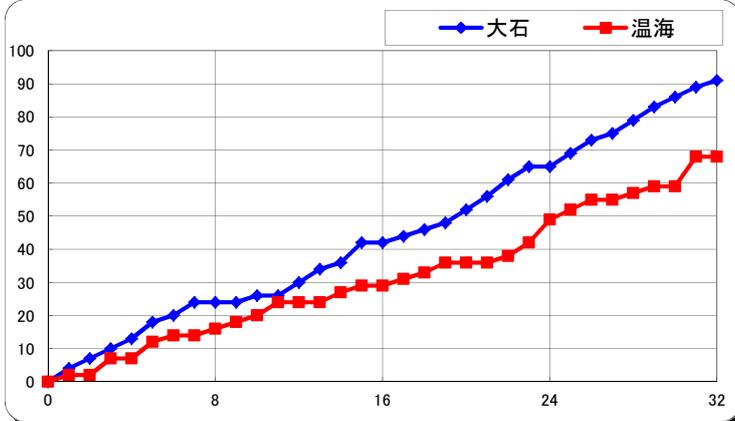




【得点経過】



大会名	東日本大震災復興支援 平成24年度全国中学校体育大会 第42回全国中学校バスケットボール大会												
会場	さいたま市記念総合体育館												
日時	平成24年8月23日(木) 13:30												
コート	Aコート	第4試合											
カテゴリー	男子	決勝トーナメント											
主審	吉田 康人 (石川県)												
副審	浅井 祐治 (三重県)												
Team A			Team B										
大石 (埼玉県)	91	<table border="1"> <tr><td>24 1st</td><td>16</td></tr> <tr><td>18 2nd</td><td>13</td></tr> <tr><td>23 3rd</td><td>20</td></tr> <tr><td>26 4th</td><td>19</td></tr> <tr><td colspan="2">OT</td></tr> </table>	24 1st	16	18 2nd	13	23 3rd	20	26 4th	19	OT		68 温海 (山形県)
24 1st	16												
18 2nd	13												
23 3rd	20												
26 4th	19												
OT													

【BOXスコア】

Team A		大石						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則	
4	遠藤 和希	×	4	0	1	2	4	
5	横地 夏樹	×	29	2	10	3	0	
6	戸田 健介	/	0	0	0	0	0	
7	堀内 孟	/	0	0	0	0	0	
8	阿部 諒太郎	×	14	0	7	0	2	
9	赤塩 翔	/	6	0	2	2	4	
10	阿辻 礼磨	×	10	0	5	0	2	
11	佐藤 良輝	/	3	0	1	1	0	
12	坂本 天空	DNP	0	0	0	0	0	
13	盛實 海翔	/	16	1	6	1	0	
14	三田 裕介	/	4	0	2	0	1	
15	星 淳太	DNP	0	0	0	0	0	
16	山口 大希	DNP	0	0	0	0	0	
17	阪本 碧	×	5	0	2	1	1	
18	大桃 佑介	DNP	0	0	0	0	0	
監督	伊藤 裕一						0	
コーチ	田中 敦子						0	
合計			91	3	36	10	14	

Team B		温海						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則	
4	伊藤 愛斗	×	14	2	4	0	2	
5	三浦 望	×	17	1	7	0	3	
6	野尻 慧	×	4	0	2	0	2	
7	三浦 桂太	DNP	0	0	0	0	0	
8	佐藤 翔	DNP	0	0	0	0	0	
9	佐藤 宏明	DNP	0	0	0	0	0	
10	本間 大詞	DNP	0	0	0	0	0	
11	五十嵐 裕二郎	DNP	0	0	0	0	0	
12	三浦 将太	DNP	0	0	0	0	0	
13	三浦 大直	×	18	1	7	1	2	
14	佐藤 文秋	×	15	4	1	1	4	
15	本間 一斗	DNP	0	0	0	0	0	
16	長谷川 晴	/	0	0	0	0	2	
17	兼子 直人	DNP	0	0	0	0	0	
18	山口 裕之	DNP	0	0	0	0	0	
監督	岩本 隆						0	
コーチ	三浦 幸喜						0	
合計			68	8	21	2	15	

【戦評】

大石は連覇へ向けての決勝トーナメント第一戦。序盤、大石のオールコート2-2-1プレスからマンツーマンDefに対して、温海マンツーマンDefでスタート。大石は激しいディフェンスから温海のミス誘い、ファストブレイクやセカンドブレイクからの#5のジャンプシュートで得点を重ねる。対する温海は#5を中心に得点する。お互い素早いパス回しでノーマークを見つけ確実に得点する。1Q終盤、大石#5のシュートでじわじわ点差を広げ、大石24-16温海で1Q終了。2Q立ち上がり、温海は#4、#5、#13の安定したジャンプシュートで2点差まで縮める。対する大石は#5のステップインやベンチスタート#13の外角のシュートで再び点差を広げにかかる。お互い厳しいマークにもかかわらず、安定したボールコントロールでチャンスをつくり得点する。大石は堅い守りから確実にDefリバウンドを奪い速攻につなげ、優位に試合を運ぶ。大石42-29温海で前半終了。

3Q、温海は1-2-1-1のゾーンプレスとマンツーマンDefのチェンジングにシフト。立ち上がりからお互い早い展開となる。大石#8がゴール下連続ゴールを決めれば、温海#14のバスケットカウントでお互い一歩も引かない。3Q残り5分、温海はボール運びでの連続ミスでイージーな得点を許してしまい、残り3分、20点差となる。更に、大石#13の外角からのジャンプシュートで得点を重ねる。大石のメンバーチェンジを機に、温海は速攻から連続して得点を重ねる。大石64-49温海で3Q終了。4Q、温海は2-2-1のゾーンプレスに変え突破口を探すが、大石の素早い攻撃により思うようにゲームメイクができない。残り3分、大石は全員をベンチメンバーにする。残り2分、温海はタイムアウトを要求し、最後の攻撃に出る。温海は#4、#5、#14の3Pで点差を縮めるものの、タイムアップ。大石91-68温海で試合終了。余力を残して勝利した大石の二回戦にも期待したい。敗れたが、温海の外角からの得点力の高さは、素晴らしいものがあった。

【戦評記入者】

本田 健一郎